

# 地球と人にやさしい修学旅行を

## 全修協は修学旅行における環境学習の研究・実践を助成します

### 〔環境学習へのアプローチ〕

〔助成〕全国修学旅行研究協会は、教育改革進行の中で、常に、これからの修学旅行の在り方を学校教育と連携において、追求し続けてきた。修学旅行は言うまでもなく教育の一環であり、その在り方は教育の課題を的確に踏まえたものでなければならぬ。この原則に立ち、現代教育の幾多の課題を中から環境教育に焦点をあてることにした。環境問題は、人類の歴史の課題であり、現代の緊急かつ重大な課題であることは言うまでもない。そして、全世界がこれを教育課題として推進していることも周知の通りである。しかし、その実態は多岐多様であり、段階にも高低があり必ずしも十分なものではない。環境問題は、将来世代への環境の恵沢の承継、持続可能な経済社会の確立といわれているが、大事なのは次のような認識である。

「子どもたちの環境教育を推進する目的は、今日の環境問題の解決を将来世代に託することにあるのではない。現在の世代は、環境問題という負の遺産を精算したうえで将来世代にバトンを渡す義務があり、環境を将来にわたって維持することこそ、子どもたちの環境教育を推進する義務がある」平成九年度環境白書

〔修学旅行との接点〕

① 環境教育で大事なことは、体験的学習の重視である。教室を出て、豊かな自然や

地域の中で、環境の大切さを実感しながら、体験として学ぶことが求められる。とにより、修学旅行を頂点とする各学年の遠足・旅行・集団適泊行事に学校見聞を広げ自然や文化などに親しむとともに、集団生活や公衆道徳のあり方など望ましい体験を積むことが求められる。この接点に立って、全修協は、豊かな自然や身近な地域社会の中で様々な体験活動を通して、自然に対する豊かな感受性や環境に対する感心や自然と人間の関わり合い、環境と社会経済システムや生活様式との関わり合いについて理解を深め、さらに環境保全や環境の創造を具体的に実践する態度を身につける等の内容を修学旅行に位置づけ、実施することにより、環境学習と修学旅行の充実と寄与していきたいと考え、後記のように「修学旅行における環境学習研究・実践校募集」を行うこととした。

〔修学旅行の質の転換〕

修学旅行に環境学習を取り入れることにより以下の様な転換が図られると考

一、目的  
修学旅行の行程の一部または主たる部分に環境学習を取り入れている学校を指定し、その研究・実践の成果を紹介し研究を助成することにより、地球と人にやさしい修学旅行の充実と推進に寄与する。

二、対象  
・ 全国公立・私立の小・中・高等学校  
・ 平成10年度計画実施の修学旅行

三、研究助成指定校数及び研究助成費・顕彰等  
① 小・中・高等学校各一校  
② 一校 三〇万円  
③ 応募校については、研究・実践を顕彰するとともにその成果を研究紀要に集録し、概要を修学旅行新聞等を通して全国に紹介する。

四、応募方法 所定の応募用紙(別紙)に必要事項を記入し、締切日までに郵送または持参。(応募用紙は各自のワープロにて作成したもので可、但し書式は変えないこと)  
申し込み先  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17  
IINK第一ビル  
財団法人 全国修学旅行研究協会  
電話 03-5259-0631  
FAX 03-5259-0630

### 〔研究・実践分野の例〕

A 自然環境学習  
A-1 自然観察学習  
例えば、森林・山野・湖沼・河川・海洋を学習の場に自然に親しみ、生態系や自然の仕組みや恵みを理解するなど  
A-2 環境問題学習  
例えば、環境保護、地球環境問題、エネルギー問題について考えるとともに、環境への負荷を与えない修学旅行や生き方を考えるなど  
A-3 自然体感学習  
例えば、陸・水・空のスポーツを通じて自然と親しみ、自然の一体感を体感し自然のすばらしさ、大切さを実感するなど  
A-4 生活文化体験  
例えば、農・林・水産業など自然や気候風土が育んだ生活・文化を体験し、自然と人間の共生について考えるなど

B 歴史文化環境学習  
B-1 歴史文化遺産学習  
例えば、歴史的建造物・彫刻・庭園など時代を超えて守り受け継がれてきた知恵と心に学び、環境との問題を考えるなど  
B-2 生活歴史文化学習  
例えば、地域に伝わる伝統的エコロジカルな生活文化を体験し、環境へのやさしさの生活化を考えるなど

〔総合的推進計画〕  
以上のように、全修協は、自らの修学旅行研究財団の役割として、学校教育と修学旅行の実践の中で、環境学習をテーマとして取上げ推進していくことにしたが、これに伴って、①修学旅行における環境学習推進のための資料作成、②修学旅行地における環境学習推進のための人的・物的条件の整備、③そのための調査の実施を計画している。もとよりこれらの推進に当たっては当協会だけの力で完遂することは不可能であり、文部省をはじめ、全国各学校、教育関係諸団体、環境問題に関心を持つ企業、その他関係諸機関の援助・協力を得て進めていきたいと考えている。

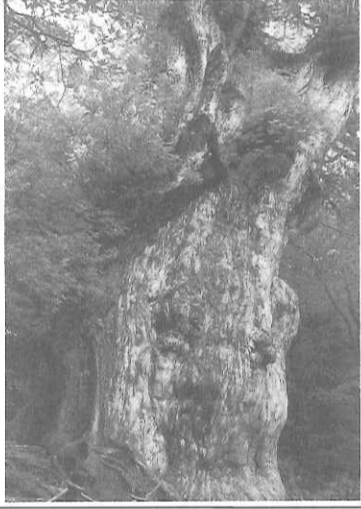
〔修学旅行における環境学習研究・実践校募集要項〕  
地球と人にやさしい修学旅行の推進

一、目的  
修学旅行の行程の一部または主たる部分に環境学習を取り入れている学校を指定し、その研究・実践の成果を紹介し研究を助成することにより、地球と人にやさしい修学旅行の充実と推進に寄与する。

二、対象  
・ 全国公立・私立の小・中・高等学校  
・ 平成10年度計画実施の修学旅行

三、研究助成指定校数及び研究助成費・顕彰等  
① 小・中・高等学校各一校  
② 一校 三〇万円  
③ 応募校については、研究・実践を顕彰するとともにその成果を研究紀要に集録し、概要を修学旅行新聞等を通して全国に紹介する。

四、応募方法 所定の応募用紙(別紙)に必要事項を記入し、締切日までに郵送または持参。(応募用紙は各自のワープロにて作成したもので可、但し書式は変えないこと)  
申し込み先  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17  
IINK第一ビル  
財団法人 全国修学旅行研究協会  
電話 03-5259-0631  
FAX 03-5259-0630



屋久島の縄文杉

KANSAI KISEN

さんふらわあ あいぼり 9,300トン

直行便：大阪南港・神戸 ← 別府  
'98年4月 姉妹船「さんふらわあこぼと」就航予定

松山寄港便：大阪南港・神戸 ← 松山 → 別府

関西汽船 営業部船客課 大阪市港区弁天6-7-15 ☎(06) 574-8500  
東京支店 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03) 3274-4273

スペースキャンプ

宇宙を遊ぶ。宇宙に学ぶ。  
スペースキャンプは、アメリカ、スペースキャンプ財団とのライセンス契約によって誕生した日本唯一の本格的宇宙体験施設です。  
©SPACE WORLD, INC.

インストラクターが全カリキュラムをサポートいたします

スペースワールド®  
インフォメーションセンター TEL093-672-3600  
団体予約センター TEL093-672-3400  
〒805-0002 北九州市八幡東区スペースワールド

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。

●営業受付時間  
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)  
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金(消費税含む)  
高校生 1,200円 中学生 900円  
小学生 800円  
※ガイドラジオ バス1台につき1,100円

九州自然動物公園  
アフリカン サファリ  
〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑  
TEL(0978) 48-2331代 FAX(0978) 48-2330

ジャングルバスチャーター料金1台17,000円(通常21,000円・定員30~35名)

美しくに 伊勢志摩  
伊勢内宮前 岩戸屋

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご体験にご利用下さい。

伊勢市内宮前  
岩戸屋  
伊勢内宮前(〒516-0024)  
TEL <0596> 23-3188代  
FAX <0596> 28-1322

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。  
インターネット: http://www.mint.or.jp/iwatoya  
E-Mail: iwatoya@mint.or.jp

